［カー用品専科・月刊誌］
Since 1999
Car Goods Magazine
［カーグッズマガジン］
www.cargoodsmagazine.co.jp
2024 1 January
定価660yen（税込み）
2023年11月16日発売（毎月17日発売）

待ったなし！ マイカーも冬仕様に装備替え

買い替えの気運、買い足しの動機。

portable power supply

あのSEVがモーターにも効く!?

Electronic Toll Collection system

drive recorder

electric tools

air freshener

audio equipment

AVN system

television adapter

accelerator tuner

［巻頭特集］
エレキの力でさらに便利に、快適に！

電気MONO アップデート！

radar detector

app linked

security equipment

router

ここ数年で速度取り締まり機は常設タイプから小型の可搬式にシフトしつつある。中でも北海道や千葉県など複数の都市では、取り締まり周波数が調整できるモデルも導入されているとか。そんな最新の取り締まり機に対応するMSSS対応モデルの性能はいかに!?

レーダー探知機
radar detector

レーダー波・レーザー光を素早くキャッチ！

十分以上に実用レベルの安心感

見やすい4インチモニターと使いやすい静電式パネル採用

悲惨な交通事故が増えてしまった昨今、事故を未然に防ぐための速度取り締まりは巧妙化が進んでいる。その例のひとつが可搬式の移動オービスへのシフトだ。これまでの取り締まりといえば、常設タイプのオービスかネズミ捕りがメジャーな手法だった。とはいえ、どちらもスペースなど設置要件に縛りがあったため、どこでも自由に行えるというわけではなかったのだ。しかし、移動式オービスの場合は設置に関する縛りは少なく、路上でも取り締まりが可能になっている。特に小学生の通学路などゾーン30に指定されるエリアなどでは、歩道スペースに機器を設置して取り締まりを行うなど、まさに神出鬼没といった状況だ。

そんな取り締まり機のメインは、Kバンド式レーダーが活用されている。このレーダーに対応した探知機はこれまでも数多くデビューしているのだが、最近ではMSSS新周波数帯を取り入れた速度計測機も導入され始めているという。このような最新の取り締まり機になるとここ数年でデビューした探知機では太刀打ちできなくなってしまう。そこでMSSS新周波数に対応するため、リニューアルを果たしたのが、ブリッツの「タッチレーザーシリーズ」というわけだ。

ブリッツからラインアップされるのは、モニターサイズやインターフェース違いによる3機種。中でもTL403Rは4インチのディスプレイを採用するフラッグシップだ。静電式タッチパネルによる操作は、タッチだけでなくフリックなども自在。スマホ感覚で設定変更が行えるため、表示画面など自分の好みに合わせて手軽にセッティングが可能。また、別売りと

BLITZ
Touch-LASER
TL403R
価格：オープン
（実勢価格：３万7800円）
㈱ブリッツ　☎0422-60-2277
https://www.blitz.co.jp

まとめ:渡辺大輔　写真:前田恵介／渡辺大輔

※価格は全て税込み／編集部調べ

フラッグシップらしい高機能を満載

北海道や千葉県に導入されると言われる小型可搬式オービスはMSSS新周波数を採用。レーダー波を照射するユニットとカメラは別体になっている。

別売りのOBD IIアダプターを使用すれば、車両コンピュータに取り込まれている各種データをモニター上に表示することが可能。追加メーター感覚でも楽しめるのだ。

受信感度の鍵を握るのは4基のセンサーを搭載した超広角レンズ。歩道など左右から照射されるレーザー光が受けやすくなるため素早い警報を行えるというわけだ。

車両情報の表示は好みに合わせてセッティング

OBD IIアダプターを使って車両と本体を接続すればスピードやエンジン回転数、水温、油温、電圧などあらゆるデータを表示することが可能になる。もちろんEVなら電池に関する情報も正確に表示してくれる。

なるOBDIIアダプターを利用すれば、車速や回転数、燃費を始めとした様々な車両情報を表示することも可能。速度取り締まり機の警告だけでなく、追加メーター気分を盛り上げてくれるギミックも見どころといえるだろう。

こういった付加機能に注目するだけでなく、やはり気になるのはレーダーやレーザーを利用する可搬式取り締まり機の探知力。実際にタッチレーザーを装着してMSSS新周波数を採用する小型可搬式オービスと出会うことはなかった。一方、遭遇した可搬式小型オービスに対してはしっかりと反応し、けたたましい警告音を鳴らして注意を促してくれている。

また、GPS情報を基にしたオービス情報やゾーン30といった情報もその都度アナウンスしてくれる。安全運転への気持ちを引き締めることで、スピードを抑えるきっかけにもなり得ることは間違いないのだ。

見事にレーザー光をキャッチ!

高速道路上でキャッチしたのは、半固定式と呼ばれるモデル。このオービスに対しては左車線を走行中に300メートル弱の距離で警告を発したため、法定速度＋α程度なら十分に速度を落とすことができるだろう。また受信角度に関しては追い越し車線を走行した場合、直線的なレーザーの特性上もう少し早い時点で警告が行われる可能性も高い。なお、ここではTL313Rを使用している。